

女子砲丸 高校ランク1位 奥山琴未 (生光学園高出身)

夢へのビッグスロー



女子砲丸投げで日本中学記録を持ち、高校でも活躍が期待される生光学園高の奥山＝同校グラウンド

陸上の投てき種目の強豪・生光学園高に女子砲丸投げのホープが加わった。岡山市出身の奥山琴未。一般規格(4キ)で14歳44の日本中学記録を持ち、自己ベストを比較した今季の全国高校ラン

奥山は16歳5ヶ月、78kgで上位入賞した地肩の

速さと強肩特長 成長求め強豪校入学

強さを武器に、すぐに頭角を現した。

「実力は将来の五輪選手級。伸びしろは多い」と太鼓判を押す。同級生には、同じ種目で全国高校ランキング4位(13歳57ヶ月)につける小松島市出身の川口由真もいる。練習や校内試合では奥山に負けない投てきを見せることもあり、指導陣は2人が競り合いながらともに成長することを期待している。

2年時の全日本中学校選手権(2・721キ)で、日本中学記録を21キ更新する16歳88をマーク。3年時には17歳45まで伸ばした。今年2月に鳴門市の記録会で投げた4キの日本中学記録14歳44は、高校1年の日本歴代最高(14歳03ヶ月)も上回るビッグスローだった。

昨春から月1、2回、生光学園の練習会に参加。整った練習環境が気に入り、林英司監督や豊永陽子顧問らの指導にも引かれて進学を決めた。「五輪に出場できるよ

林監督によると、好記録の要因は鉄球を押し出す動きの速さと肩の強さにある。一方、専門的な指導を受けていないため技術は荒削りで、勝負どころでの弱さなどメンタル面にも課題があるとい

(石津遼・写真も)